



## 成績評価と GPA 制度について

GPA (Grade Point Average) とは、アメリカなどで一般的に行われている学生の成績評価方法の一つであり、履修科目の成績の1単位あたりの成績平均を数値で表すもので、日本でもこの制度を導入する大学が増えています。学生への GPA の通知は、「履修登録 Web」等により行います。GPA の結果を学生自らが確認し、自分の履修計画の点検材料として積極的に活用してください。

なお、大学としては GPA を成績順位等の資料として活用し、学長賞・成績優秀者学業奨励賞などの選考に用います。また、GPA が低い (=成績評価が低い) 学生に対して、今後の履修計画等に関する修学指導の材料とします。

本学における GPA 制度及び履修登録の取扱等について、簡単に説明します。

### 成績評価と GP について

成績評価については、「A+, A, B+, B, C, D, F (未受験等または無資格を含む)」の7段階で評価し、D以上で合格となります。なお、成績証明書の記載は、合格した科目及び累積 GPA のみとなります。また、GP (Grade Point) としては、「A+は4.0, Aは3.5, B+は3.0, Bは2.5, Cは2.0, Dは1.0, F (未受験等または無資格を含む) は0.0」としています。

区分	成績記録	成績証明書	GP
合格	A+	A+	4.0
	A	A	3.5
	B+	B+	3.0
	B	B	2.5
	C	C	2.0
不合格	D	D	1.0
	F 未受験等 無資格	記載しない	0.0
履修取消	W	記載しない	対象外

※「未受験等」とは、評価は不合格であるが試験を欠席またはレポートを提出していない場合に記載されます。また、「無資格」とは、評価は不合格であるが欠席講数が規定授業講数(15講または30講)の1/3を超えており受験資格無しという場合に記載されます。なお、「W」とは、履修取消により GPA 算定の対象外となった場合に記載されます。

### GPA 制度の概要及び種類等について

#### 1. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する方法であり、GP に該当科目の単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出します。計算結果は小数点以下第3位を切り捨てして表記します。

【GPA 計算例】  $GPA = 37.0 \div 14 = 2.64$  (小数点以下第3位を切り捨て)

科目名	単位数	成績評価	GP	GP×単位数
〇〇学 I	2	A	3.5	7.0
〇〇実技 I	2	C	2.0	4.0
〇〇の文化	2	F	0.0	0.0
〇〇概論	4	A+	4.0	16.0
〇〇概説	4	B	2.5	10.0
合計	14			37.0

2. GPAの対象科目  
以下の①②③以外の授業科目がGPA算定の対象となります。
  - ①成績評価の無い認定科目  
入学前に修得した単位認定科目、他大学との単位互換により修得した単位認定科目
  - ②成績評価付きで単位認定した科目  
再入学・復学により既修得科目について成績評価付きで単位認定した科目
  - ③履修取消した科目
3. GPAは学期ごとに算出したもの(学期GPA)、年度ごとに算出したもの(年度GPA)、入学時から現在の学期まで通算したもの(累積GPA)があり、その計算方法は次のとおりです。
  - ①学期GPA  
当該学期に履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を当該学期の履修総単位数で除して算出します。
  - ②年度GPA  
当該年度に履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を当該年度の履修総単位数で除して算出します。
  - ③累積GPA  
入学時から現在の学期までに履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を入学時からの履修総単位数で除して算出します。
4. 再履修科目の取扱い  
履修した科目が不合格となった場合は、次年度以降に再度同じ科目を履修し単位を修得することができますが、再履修して単位を修得した場合においても、不合格となった年度の成績はGP=0.0として累積GPA等の算定対象となります。
5. 不正行為により成績評価を受ける資格を喪失した成績の取扱い  
試験不正行為者として、当該受験科目及びその定期試験期間に受験したすべての授業科目について成績評価を受ける資格を喪失した場合には、当該授業科目の成績は「無資格」となり、GPは0.0として扱われます。

## 履修取消について

「履修取消」とは、履修登録をして授業に出たものの授業の内容が学びたい内容と違っていたり、授業に十分ついていくことができないため履修科目数を減らしたいなど、受講目的が達成されないなどの理由でGPAの対象から外したい科目がある場合には、履修取消を申請(履修取消ができない科目以外)することにより、履修していた科目を放棄しGPA算定の対象外とすることが可能となる制度です。ただし、指定された履修取消期間内に履修取消の申請手続きを行わない場合は、履修登録したすべてのGPA対象科目がGPA算定の対象となります。

1. 履修取消ができない科目は以下のとおりです。
  - ①人数制限等のために事前登録をした科目
  - ②実習費・課程履修費徴収科目
  - ③集中講義科目
  - ④GPA除外指定科目
2. 履修取消できる科目は、前期は2科目まで(前期科目及び通年科目)、後期は2科目まで(後期科目及び通年科目)となります。なお、取消した科目の代わりに別の科目を追加登録することはできません。
3. 履修取消をした科目については、履修登録記録上は削除されませんが、成績評価では履修取消(W)=(Withdrawal)として表示され、GPA計算の対象外となります。
4. 病気、事故等やむを得ない事情で履修取消をしたい旨の願い出があり、副学長が認めた場合には履修取消期間以降においても履修を取り消すことができます。
5. 前期の履修取消
  - ①履修登録をした科目のうちGPAの対象から外したい科目がある場合には、履修取消ができない科目以外で、前期科目及び通年科目のうち2科目まで、履修の取消を申請し履修を放棄することができます。
  - ②学期途中で履修取消をした科目は履修登録記録上は削除されないため、取り消した科目も当

該年度の履修登録単位の上限単位数に含まれます。従って、前期に履修取消をした単位数分を後期に追加登録することはできません。また、当該年度中に同一科目を重複履修することはできませんので、前期に履修取消をした科目を後期の履修登録修正で追加することはできません。卒業年度の学生の皆さんは、この履修取消により卒業に必要な単位数が不足して卒業延期となることの無い様に十分注意してください。

6. 後期の履修取消

履修登録をした科目のうち GPA の対象から外したい科目がある場合には、履修取消ができない科目以外で、後期科目及び通年科目のうち 2 科目まで、履修の取消を申請し履修を放棄することができます。卒業年度の学生の皆さんは、この履修取消により卒業に必要な単位数が不足して卒業延期となることの無い様に十分注意してください。